

品質と環境に関する取り組み

サステナブル社会への貢献並びに確固たる企業品質の確立、これらを経営の根幹として、快適な生活を支える価値を創出し、グローバルに貢献する企業へと進化を続けます。

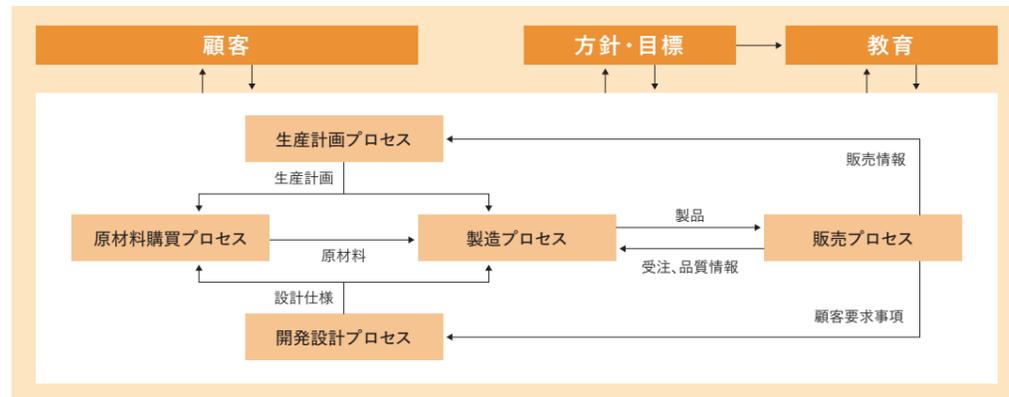
私たちは、「ニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現します」という基本理念のもと、粘着技術をベースに幅広い分野に製品をお届けすることで、人々の快適な生活に貢献しています。さらに、さまざまな事業活動を通じて社会と自然との共生を目指し、持続的な社会を築く取り組みを進めています。環境・社会の課題に貢献するための取り組みとしては、製品等の設計段階から原材料の購入、生産、販売、廃棄にいたる事業活動の全段階における環境負荷の低減、化学物質の管理、気候変動や地球温暖化対策、資源枯渇への配慮、生物多様性の保全などが含まれます。これらを企業の責務として、全社員が製品のライフサイクル全体にわたる環境負荷低減を進めていきます。



上席執行役員
品質保証本部長
小久保 武政

品質に関する取り組み

ニチバングループでは、品質文化の醸成活動を通じて品質人材の育成を図り、社員の品質意識向上と確固たる企業品質の確立を進めております。また、顧客満足度の向上を目指し、品質マネジメントシステムISO9001規格に基づいて、以下の5つのプロセス(開発設計プロセス、原材料購入プロセス、生産計画プロセス、製造プロセス並びに販売プロセス)を最適に管理し運用しております。



環境に関する取り組み

ニチバングループは環境経営を重視し、資源循環型社会への貢献に注力しています。ISO14001の認証取得を通じて、製品等の研究開発、設計段階から原材料の購入、生産、販売、廃棄にいたる事業活動の全段階において、環境への影響を評価するシステムを確立するとともに、法的要件や環境への影響を管理し、目標の設定や計画的な実行、結果の評価を行い、継続的な改善を図っています。これら取り組みの成果として、2024年には前年度比3,898t(約19.7%)のCO₂排出量削減に成功しました。ニチバングループの環境へのコミットメントと積極的な改善努力により、環境負荷低減への貢献を続けています。



環境会計

1999年度から環境コストとその効果を算出する独自の環境会計を導入しています。対象は本社と国内3工場、国内グループ会社3社で、期間は毎年4月から翌年3月としております。また、環境コストは設備投資と費用の2項目に分けて集計しています。設備投資では環境保全に係る設備投資額を、費用では環境配慮製品の研究開発及び環境保全活動にかかわる人件費や環境保全活動に対する設備の減価償却費を計上しています。詳細は下段の環境関連リンクを参照ください。

環境保全コスト (単位:千円)

分類	主な取り組み内容	2023年度		2024年度	
		投資額	費用額	投資額	費用額
1. 事業エリア内コスト	環境負荷を抑制するための環境保全コスト	554,074	659,830	171,094	896,501
内訳	1.1 公害防止コスト	103,489	178,475	28,642	232,946
	1.2 地球環境保全コスト	235,348	250,682	138,462	444,548
	1.3 資源循環コスト	215,236	230,673	3,990	219,007
2. 上・下流コスト	グリーン購入およびグリーン調達のための費用 製品の容器包装リサイクル費用	16,780	14,705	0	14,832
3. 管理活動コスト	環境マネジメントシステム運用・維持のための費用 環境情報の開示および環境広告のための費用 環境負荷の監視および管理のための費用	0	126,351	0	126,034
4. 研究開発コスト	環境配慮製品開発のための人件費 環境配慮製品開発のための費用	0	139	0	0
5. 社会活動コスト	地域社会への環境活動費用 環境団体への寄付	0	22,250	0	22,253
6. 環境損傷対応コスト	環境汚染(大気汚染・土壌汚染など)に対応する保険料	0	0	0	0
合計		570,854	823,275	171,094	1,059,620

環境保全効果

環境保全効果 効果の内容	環境負荷指数		
	2023年度環境負荷量	2024年度環境負荷量	対前年度環境負荷増減量および効果
Scope1・2 CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	総排出量:19,805	総排出量:15,907	総排出量:-3898
廃棄物発生量(t)	4,555	4,316	-239
水使用量(千m ³)	514	405	-109
PRTR対象物質排出量(t)	565	513	-52
その他の効果 (有機溶剤使用量削減)	環境目標:「2024年度の有機溶剤使用量を2019年度比で20%削減」に対し、29.7%達成		

※廃棄物発生量は2023年度から算出範囲を変更

環境関連リンク

環境マネジメントシステム ISO14001の認証取得/環境負荷データ・環境会計/脱炭素社会の実現に向けて/省エネルギー・環境負荷低減/グリーン電力証書の活用/自然との共生/化学物質関連等の取り組み/工場データ